電波新聞
2020年(令和2年)4月1日(水曜日)

電波新聞

「アイタックインターナショナルジャパン」きょう発足

全員営業でビジネス拡大
顧客の利便性向上

高島グループの電子デバイス・電子機器事業を担当するアイタックインターナショナル(香港)は、今年4月1日付の組織改編で、アイタック(東京都新宿区)とアイタックインターナショナル日本支社を統合し、新会社「アイタックインターナショナルジャパン」(東京都新宿区、後藤俊夫代表取締役CEO)を発足させる。日本法人のアイタックの二つの組織で展開されてきた。日本法人のアイタックは日本国内での営業活動などを担当し、アイタックインターナショナル日本支社は海外でモノづくりを行う日系顧客の本社などを実施してきた。

後藤 代表取締役CEO

同社グループの日本での事業はこれまで、アイタックとアイタックインターナショナル日本支社(東京オフィス、大阪オフィス)の二つの組織で展開されてきた。日本法人のアイタックは日本国内での営業活動などを担当し、アイタックインターナショナル日本支社は海外でモノづくりを行う日系顧客の本社などを実施してきた。

一方で、最近は日本の顧客が海外製部品を日本の工場で使用するケースなどが増加しており、また、アイタックインターナショナル日本支社が日本でスペックインしたビジネス区。アイタックインターナショナル日本支社の大阪オフィスは新会社の大阪支店となる。旧アイタックの資本金は4千万円だったが、統合に合わせて3億円の増資を行い、新会社の資本金は3億4千万円に増強された。新会社のCEOは、アイタックインターナショナルジャパン」に改称することとした。

3億円増資

新会社の本社所在地は、旧アイタックの所在地だった東京都新宿